



個性を発揮し、世界へはばたけ！

社会学

2016年度 全国自己推薦入学試験

早稲田大学 社会科学部

School of Social Sciences, WASEDA University

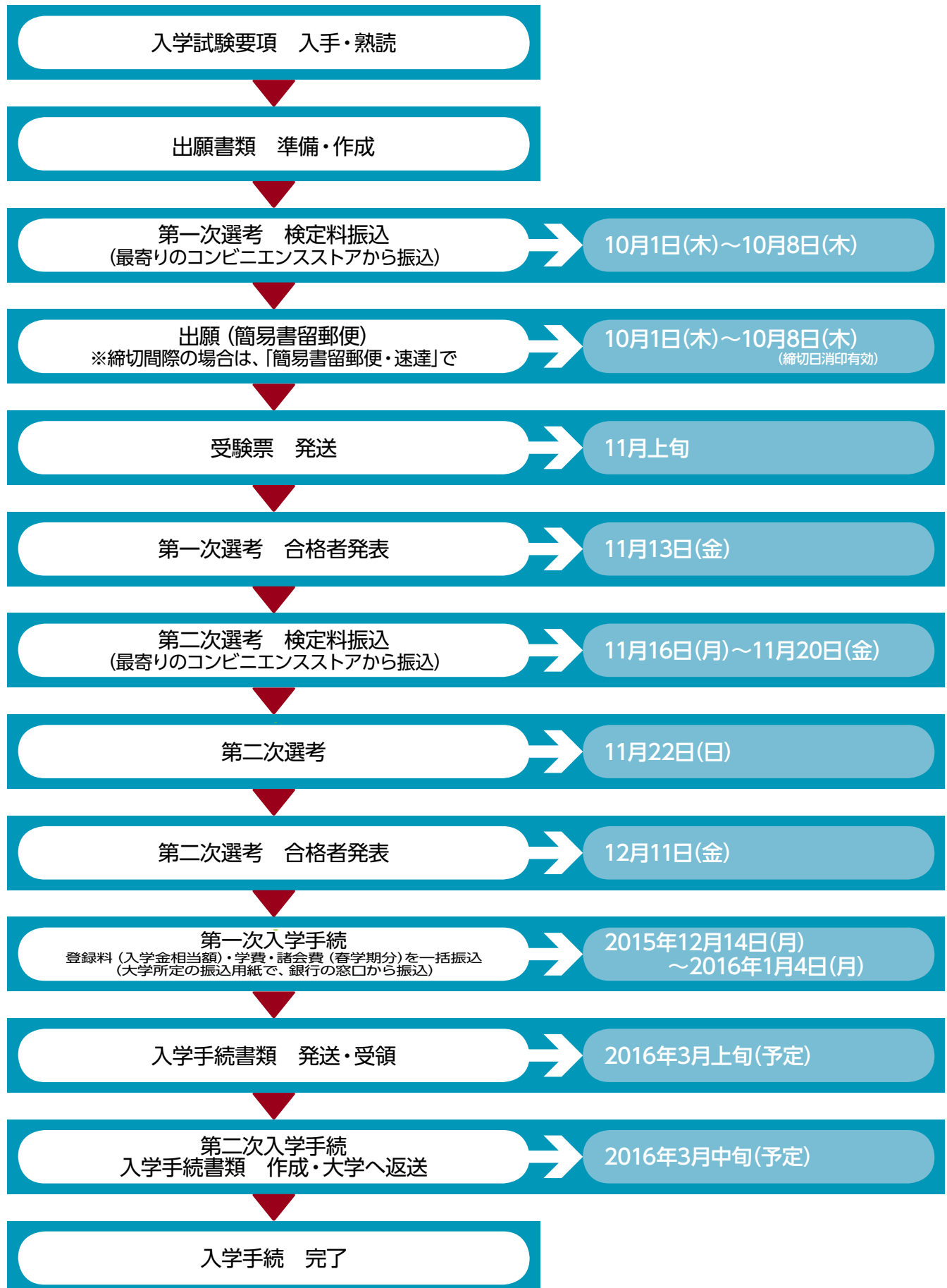
目次

●全国自己推薦入学試験フローチャート

01 学部紹介.....	1	06 出願書類記入上の注意	8
02 学部長からのメッセージ	2	07 選考.....	13
03 募集人員.....	3	08 合格者発表.....	15
04 出願資格.....	3	09 入学手続.....	15
05 出願手続.....	4	10 Q&A	17

全国自己推薦入学試験フローチャート

2016年度の日程



01 学部紹介

社会科学部で学際的に学ぶ

高度に発展した現代社会が直面している困難な危機や閉塞感などの問題は、多様な価値観や利害、現代社会のしくみなど様々な原因が複雑にからみあった結果です。このような問題に立ち向かうためには、単一の学問領域の「論理」だけで問題を解決することは、もはや不可能です。社会科学部では、伝統的な学問領域の論理の枠を超えた「学際的」な人間を育成し、社会の最も困難な問題に立ち向う知力、実践力および人間性を備えた学生の育成を目標にしています。

■学際性とカリキュラムの自由度

創設時より学際性を標榜してきた社会科学部では、個人の知的な興味や問題意識に応じて自由な科目履修ができるよう、カリキュラムはとてもフレキシブルです。つまり皆さん自身でカリキュラムを設計することが可能なのです。

しかし、「学際」を正しく理解するために一番重要なことは、政治・経済・法律・商学や人文自然科学など、まずはひとつの伝統学問をしっかり学ぶこと。このステップで学問の「際」が理解できます。なぜ、学際性が重要なのかを理解することが第一ステップです。

■豊富なテーマのゼミナール

2年生からはゼミナールが始まります。60を超えるテーマの中から自らのアカデミックな興味に応じて選択が可能です(選考が行われる場合があります)。ゼミナールで自分の強みを磨きながら、専門科目を履修することでひとつの事柄を多面的に分析・評価する力をつけてゆきましょう。

■グローバルなアカデミックシーンへの挑戦

早稲田大学は、大学全体としてグローバル人材の育成を目標に掲げています。卒業後世界で活躍する、地域社会に貢献する、どちらにしても、学生時代にグローバルな視野と経験を養うことは重要です。社会科学部では、世界各地へ、そして短期・長期間問わず多くの学生が留学の経験を持つことを奨励しています。

02 学部長からのメッセージ

社会科学部長
西原 博史

こんにちは。早稲田大学社会科学部の全国自己推薦入試に関心を寄せていただき、ありがとうございます。

社会科学部で私たちが研究を進め、学生たちといっしょに学んでいるのは、「将来の人々が幸せに生きていくことを可能にするような社会の仕組みはどのようなものか、どうやって作っていったらいいのか?」という問題です。あなたにも、ぜひ、その中に飛び込んで、いっしょに学びを進めていくことを通じ、ご自身の力をつけていっていただきたいと思います。

人々が幸せに生きていく条件を考えることには、現在、昔よりも簡単になった部分と、難しくなった部分があります。もちろん、科学技術や医療技術が進み、世の中は便利になりました。でも、それがただちに、人類の平和共存や人々の暮らしの安全、生きがいのある仕事のあり方につながったわけではありません。我々は、まだまだ数多くの深刻な問題を抱えています。

全国自己推薦入試は、その深刻な問題をいっしょに考え、解決策を模索していくことのできる学生を選ぶための道筋の一つとして、社会科学部の入試制度の中でも極めて重要な意味を持っています。全国自己推薦入試で問われるのは、単なるペーパーテストの成績ではありません。そうではなくて、自分の得意な分野で頑張りを示し、実績を挙げることのできる、一点集中突破型の尖ったパーソナリティが評価される入試です。強烈な個性を、社会科学部は大いに歓迎します。

社会科学部が強烈な個性を尊重することには、理由があります。先ほど触れたように、現代の難問に立ち向かい、解決するためには、これまでの常識を打ち破り、その先を見通すような議論が必要です。そうした場では、人々の個性の多様性こそがエネルギーの源となり、議論に参加する人々の持つ視点の多様性こそが議論の生産性を高めます。新たな知の構築を可能にするためには、尖ったパーソナリティが必要なのです。

そのために作られた全国自己推薦入試は、「自分はこういう分野で頑張っている」、「こんな実績を挙げた」、「このような社会貢献をしている」と、受験生の皆さん自身が自分で自分の活動を評価し、申請するユニークな制度です。そうした活動を通じて、どのように自分を高めてきたのかを、私たちに直接訴えかけていただくことができます。高校時代のさまざまな経験・体験を大学での勉学・活動に活かし、それを将来につなげていきたいと考える人たちのためにこの制度はあります。また、出身地域の多様性も、この入試制度の中では重要な役割を果たします。

学生の多様性が重視された環境の中で、ゼミナールなどの少人数環境で個性が強い友人と出会い、多様な国際的背景を持つ仲間とともに、自分の関心に応じて各人各様の社会科学を作っていくことのできる社会科学部。ここは、これまでの育ててきたあなたの力を一層高めていくために、素晴らしい学びの場となるでしょう。こうした学びの場を経て、卒業生は全国各地あるいは世界各地で、本当にさまざまな分野で活躍しています。

このように社会科学部は、さまざまな学生が集い、切磋琢磨し、刺激的な4年間の学生生活を送る場でありたいと思っています。社会科学部でともに学びながら、みなさんの力と可能性をもっともっと広げてみませんか?

03 募集人員

社会科学部 社会科学科 約 50 名

04 出願資格

出願する者は、次の (1) ～ (4) のすべてに該当していなければなりません。

(1) 2015年3月に高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者、または2016年3月に高等学校または中等教育学校後期課程を卒業見込の者	
【2015年3月に高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者】	
(2) 高等学校または中等教育学校後期課程卒業時における全体の評定平均値が4.0以上の者	(2) 1年1学期（または前期）から3年1学期（または前期）までの全体の評定平均値が4.0以上の者 ※4年制の定時制高等学校の場合は、1年1学期（または前期）から最終学年の1学期（または前期）までの全体の評定平均値が4.0以上の者
(3) 高等学校または中等教育学校後期課程卒業時における調査書記載の欠席日数が45日以内の者 ※4年制の定時制高等学校の場合は、卒業時における調査書記載の欠席日数が60日以内の者	(3) 1年1学期（または前期）から3年1学期（または前期）までの調査書記載の欠席日数が45日以内の者 ※4年制の定時制高等学校の場合は、1年1学期（または前期）から最終学年の1学期（または前期）までの調査書記載の欠席日数が60日以内の者
(4) 高等学校または中等教育学校後期課程在籍期間の活動において、次の一つ以上に該当する者。ただし資格に関しては、高等学校または中等教育学校後期課程在籍期間以前に取得したものの出願も受け付ける。 ◇学芸系またはスポーツ系クラブなどに所属し、都道府県以上の大会・コンクール・展覧会などにおいて優秀な成績を収めた者 ◇生徒会活動においてめざましい活躍をした者 ◇資格（語学検定や、財務・会計資格など）を有する者 ◇その他、学校外での諸活動（クラブ活動・ボランティア活動など）においてめざましい活躍をした者	(4) 高等学校または中等教育学校後期課程在籍期間の活動において、次の一つ以上に該当する者。ただし資格に関しては、高等学校または中等教育学校後期課程在籍期間以前に取得したものの出願も受け付ける。 ◇学芸系またはスポーツ系クラブなどに所属し、都道府県以上の大会・コンクール・展覧会などにおいて優秀な成績を収めた者 ◇生徒会活動においてめざましい活躍をした者 ◇資格（語学検定や、財務・会計資格など）を有する者 ◇その他、学校外での諸活動（クラブ活動・ボランティア活動など）においてめざましい活躍をした者

身体機能の障がいや疾病により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立って、2015年9月11日（金）までに、全国自己推薦入学試験係（連絡先は巻末に記載）へ必ず申し出てください。また、大きな病気やケガのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかに申し出てください。

05 出願手続

I. 出願期間

2015年10月1日(木)～10月8日(木)【締切日消印有効】

II. 出願方法

封筒(角2封筒)に出願書類を封入し、「出願書類提出用封筒表紙ラベル(当学部所定用紙)」を貼付のうえ、「簡易書留郵便」で送付してください。なお、**締切間際に送付する場合は、必ず「簡易書留郵便・速達」にしてください。**

※出願書類の受理を証明する書類等は発行しておりません。ご自身で、引受番号などによって追跡、確認してください。

III. 入学検定料

第一次選考料 10,000円 第二次選考料 25,000円 計 35,000円

□出願に際して、第一次選考料10,000円の振込が必要です。第一次選考料は、出願前に必ず振り込んでください。第一次選考料を振り込んでいない方の出願は受け付けません。

□第一次選考料は、「早稲田大学 コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」(6ページ)にしたがい、所定のコンビニエンスストア店頭にある情報端末から振り込んでください。振込終了後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」を切り取って、「全国自己推薦入学試験(第一次選考) 志願票」の所定欄に貼って、出願書類として送付してください。

※第一次選考料のコンビニエンスストアでの振込は、2015年10月1日(木)10:00から受付を始め、出願締切日の2015年10月8日(木)に受付を終了します。振込は、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし、**出願締切日は23:00までに申込の操作を完了し、23:30までに振込を済ませてください。**

※コンビニエンスストアでの振込に際しては、家族・知人が代理で手続する場合でも、**情報端末上では、必ず志願者本人の情報を入力してください。**

※第一次選考料の振込は、原則としてコンビニエンスストアでの振込のみを受け付けますが、お住まいの地域に所定のコンビニエンスストアが無いなどの事情により、コンビニエンスストアでの振込が困難であるような場合には、事前に、全国自己推薦入学試験係(連絡先は巻末に記載)へ申し出てください。

□第二次選考料(第一次選考合格者に案内します)は、第二次選考の受験に際して振込が必要です。受験前に必ず振り込んでください。第二次選考料を振り込んでいない方の第二次選考受験は認められません。**第一次選考料と同様**に、所定のコンビニエンスストア店頭にある情報端末から振り込んでください。振込終了後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」を切り取って、「全国自己推薦入学試験(第二次選考) 志願票」の所定欄に貼って、**第二次選考当日、必ず持参してください。**

※第二次選考料のコンビニエンスストアでの振込は、2015年11月16日(月)10:00から受付を始め、2015年11月20日(金)に受付を終了します。振込は、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。

ただし、出願締切日は23:00までに申込の操作を完了し、23:30までに振込を済ませてください。

※コンビニエンスストアでの振込に際しては、家族・知人が代理で手続する場合でも、情報端末上では、必ず志願者本人の情報を入力してください。

※第二次選考料の振込も、原則としてコンビニエンスストアでの振込のみを受け付けますが、お住まいの地域に所定のコンビニエンスストアが無いなどの事情により、コンビニエンスストアでの振込が困難であるような場合には、事前に、全国自己推薦入学試験係(連絡先は巻末に記載)へ申し出てください。

早稲田大学 コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

**24時間
支払可能**

1 Webで事前申込み



画面の指示に従って必要事項を入力し、
お支払いに必要な番号を取得してください。

<https://e-shiharai.net/>

携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して
新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、
自動的にキャンセルされます。

当学HP
からも
アクセス
できます！



2 コンビニでお支払い

- 入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

7-Eleven
【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料
取扱明細書」(チケット)を受け取って
ください。

サークルK
【オンライン決済番号
(11ケタ)】

カルワザ ステーション
KARUWAZA STATION

各種支払い

11ケタの番号をお持ちの方

オンライン決済番号を
入力してお支払い

【オンライン決済番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱
明細書」(チケット)を受け取ってください。

LAWSON **MINI STOP**
【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Loppi

各種サービスメニュー

各種代金・インターネット受付
(紫のボタン)

各種代金お支払い

マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

FamilyMart
【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Famiポート

代金支払い

各種代金お支払い

番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】を入力

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

3 出 願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。

●セブン-イレブン
「入学検定料・選考料 取扱明細書」
の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込領収書」は保管。

●サークルK・サンクス
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書
部分を切り取る。
「オンライン決済領収書」は保管。

●ローソン ●ミニストップ
●ファミリーマート
「入学検定料・選考料 取扱明細書」
の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。

切り取った「収納証明書」を
入学志願票の所定の欄に貼付。

入学志願票に貼付する「収納証明書」部分

※「収納証明書」を貼付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

■注意事項

- 出願期間に入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。
- 一度お支払いされた入学検定料は、店頭では返金できません。

- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。(全コンビニ共通)

事務
手数料

入学検定料が5万円未満	432円(消費税込)
入学検定料が5万円以上	648円(消費税込)

※事務手数料は変更になる場合があります。

「入学検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭
ではお応えできません。詳しくはサイトでご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

IV. 出願書類

i. 「全国自己推薦入学試験（第一次選考）志願票」

当学部所定用紙。「出願書類記入上の注意」(8～12ページ)を参照のうえ、作成してください。

厳封する必要はありません。

ii. 高等学校または中等教育学校後期課程の「調査書」

出願前3か月以内に発行されたものを提出してください。

在籍している（していた）学校によって厳封されたものとし、開封されたものは無効とします。

iii. 「志望理由書」

当学部所定用紙（400字×2枚）。「出願書類記入上の注意」(8～12ページ)を参照のうえ、作成してください。

厳封する必要はありません。

iv. 「活動記録報告書①（大会記録）」

当学部所定用紙。該当者のみ、提出してください。「出願書類記入上の注意」(8～12ページ)を参照のうえ、作成してください。1枚だけ提出することができます。

在籍している（していた）学校または関係機関の証明印などが整い、在籍している（していた）学校または関係機関によって厳封されたものとし、開封されたものは無効とします。

v. 「活動記録報告書②（生徒会活動・留学等・学校外での諸活動等）」

当学部所定用紙。該当者のみ、提出してください。「出願書類記入上の注意」(8～12ページ)を参照のうえ、作成してください。活動が複数ある場合、代表的なもの2件について、合計2枚まで提出することができます。

在籍している（していた）学校または関係機関の証明印などが整い、在籍している（していた）学校または関係機関によって厳封されたものとし、開封されたものは無効とします。

vi. 「活動記録報告書③（資格等）」

当学部所定用紙。該当者のみ、提出してください。「出願書類記入上の注意」(8～12ページ)を参照のうえ、作成してください。1枚だけ提出することができます。

在籍している（していた）学校または関係機関の証明印などが整い、在籍している（していた）学校または関係機関によって厳封されたものとし、開封されたものは無効とします。

vii. 「出願書類チェックリスト」

こちらを使って、すべての出願書類を確認したうえで、出願書類とともに封入してください。

※当学部所定用紙は、当学部ホームページ (<http://www.waseda.jp/fsss/sss/>) からダウンロードしてください。

※一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還できません。ただし、以下のケースに該当する場合には、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は、全国自己推薦入学試験係（連絡先は巻末に記載）まで申し出てください。

- 1) 入学検定料を所定額より多く支払った
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった
- 3) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した
- 4) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった

06 出願書類記入上の注意

注意 出願に際し、出願資格や活動記録などの立証責任は、志願者本人にあります。よって、必要書類の不足、記入漏れ、証明内容の不備がある場合は、志願者にとって不利に扱われる場合がありますので、十分に注意してください。

また、虚偽の記載があった場合は、合格を取り消すことがあります。

「全国自己推薦入学試験（第一次選考）志願票」、「志望理由書」、「活動記録報告書①（大会記録）」、「活動記録報告書②（生徒会活動・留学等・学校外での諸活動等）」、「活動記録報告書③（資格等）」は、必ずA4判にプリントアウトしてください。

記入を間違えた場合は、修正液を使用せず、間違えた部分に二重線を引き、上から訂正印を押した後、余白部分に訂正してください。

I. 「全国自己推薦入学試験（第一次選考）志願票」記入上の注意

黒のペン、またはボールペンを使って、ていねいに、かつ正確に、必要箇所をすべて記入のうえ、提出してください。ただし、※印の付いた空欄箇所は記入しないでください。

厳封する必要はありません。

☐ 現住所

「丁目」「番地」「号」は省略し、ハイフン（-）で記入してください。

マンション名などは、必要に応じて記入してください。

下宿などの場合は、〇〇様方まで記入してください。

現住所に書かれた宛先に受験票、および選考結果通知を送付しますので、必ず受け取ることのできる宛先を記入し、間違いや不備の無いように十分注意してください。

☐ 出身学校コード

この入試要項と同じホームページに掲載されている「高等学校等コード番号表」を参照のうえ、記入してください。

☐ 設置、課程

それぞれの、該当するものにチェック印を付けてください。

☐ 写真2枚

タテ4cm×ヨコ3cmの証明写真（出願前3か月以内に撮影したカラー写真・上半身・正面・無帽・無背景・枠無し）を2枚用意し、裏面に氏名を記入のうえ、「全国自己推薦入学試験（第一次選考）志願票」の所定欄に、**1枚は全面を、もう1枚は上部だけ**をのりづけして貼ってください。

提出された写真は、試験当日の本人確認や、入学後の学生証の写真として使用しますので、本人を判別できるような写真を用意してください。また、学内諸手続における本人確認、および学内の各種Webサービス等に本人情報として登録しますので、予めご了承ください。

☐ コンビニエンスストア 入学検定料収納証明書 貼付欄

「早稲田大学 コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」（6ページ）にしたがい、第一次選考料の振込を済ませた後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」を切り取って貼ってください。

Ⅱ. 「志望理由書」記入上の注意

黒のペン、またはボールペンを使って、ていねいに、かつ正確に、必要箇所をすべて記入のうえ、提出してください。ただし、※印の付いた空欄箇所は記入しないでください。

厳封する必要はありません。

①あなたの最もアピールしたい活動についての詳細*

*どのように取り組んだか、どのような役割をしたのか、どのような出来事があり、どのように解決したのか、など。

②そこから学んだこと

③合格したら、社会科学部での4年間に於いて、それをどのように活かしたいか

について、それぞれバランスよく記述し(800字以内)、**志願者本人が作成**してください。

Ⅲ. 「活動記録報告書①(大会記録)」記入上の注意

黒のペン、またはボールペンを使って、ていねいに、かつ正確に、必要箇所をすべて記入のうえ、提出してください。ただし、※印の付いた空欄箇所は記入しないでください。

1枚だけ提出することができます。

☐ I-i. I-ii. 大会・コンクール・展示会・発表会など

◇学芸系(主要コンクール出場など)、スポーツ系(インターハイ・国民体育大会出場など)、その他の個人的活動(個人で出場した音楽・スピーチコンテストなど)に関する大会記録を記入してください。

◇「賞・順位」欄には、優勝、2位、金賞、内閣総理大臣賞などと記入してください。また、賞の名称から順位が把握できないものは、その賞が全体の中でどの程度の位置を占めるかがわかる資料を必ず添付してください。

◇「その他特記事項」欄には、団体・個人の区別の他、順位には直接関係なくても強調すべきこと(例:大会新記録、日本代表、最優秀選手など)を記入してください。

◇「予選大会・成績」欄には、どのような大会の、どのような成績を経て下記大会に至ったのかを記入してください。予選が無い場合には、記入する必要はありません。予選大会が2つ以上ある場合は、上位の大会2つを記入してください。

※証明印などについては、必ず在籍している(していた)学校または関係機関に依頼し、記入・捺印を受けてください。在籍している(していた)学校または関係機関によって厳封されたものとし、開封されたものは無効とします。

Ⅳ. 「活動記録報告書②(生徒会活動・留学等・学校外での諸活動等)」記入上の注意

黒のペン、またはボールペンを使って、ていねいに、かつ正確に、必要箇所をすべて記入のうえ、提出してください。ただし、※印の付いた空欄箇所は記入しないでください。

活動が複数ある場合は、代表的なものの2件に関して、合計2枚まで提出することができます。

☐ II. 生徒会活動・留学等・学校外での諸活動等

◇「活動分野」の欄には、「クラス運営」「生徒会活動」「交換留学」「短期留学」「語学研修」「ボランティア活動」など、活動を端的に示す名称を、志願者本人が考えて記入してください。

◇生徒会などの活動(クラス委員長、全校生徒会の役職など)に関して、「活動期間／頻度」欄には務めた期間と頻度を、「活動内容」欄には委員の役割や活動の内容を具体的に記入してください。

◇留学などに関して、「活動期間」欄には留学などをした期間(この場合、「頻度」項に記入する必要はありません)を、「活動内容」欄には学習・活動した内容を具体的に記入してください。

◇学校外での諸活動（ボランティア活動など）に関して、「活動期間／頻度」欄にはたずさわった期間と頻度を、「活動内容」欄には役割や活動の内容を具体的に記入してください。

※証明印などについては、必ず在籍している（していた）学校または関係機関に依頼し、記入・捺印を受けてください。2枚を提出する場合は、すべてに記入・捺印を受けてください。在籍している（していた）学校または関係機関によって厳封されたものとし、開封されたものは無効とします。

V. 「活動記録報告書③（資格等）」記入上の注意

黒のペン、またはボールペンを使って、ていねいに、かつ正確に、必要箇所をすべて記入のうえ、提出してください。ただし、※印の付いた空欄箇所は記入しないでください。

1枚だけ提出することができます。

□Ⅲ. 資格等

◇学芸系・スポーツ系・趣味などにおける資格の級・段位などのうち、志願者本人が、アピールできる度合いが高いと考えるものを、2つまで記入してください。

◇書道、華道や武道など、流派が多く見られ、「皆伝」「宗師心得」など、級・段位としてわかりづらい資格については、高校生として全国でどのくらいの人数が取得しているか、流派全体の中でどの程度のレベルであるか、どのような価値を持っているかなどを、★印の欄内へ、関係機関に説明してもらってください。説明が無い場合、不利に扱われる場合があります。

□Ⅳ. 上記以外の特記すべき事項

◇「Ⅲ. 資格等」欄に記入したもの以外でアピールしたい資格があれば、「Ⅲ. 資格等」欄にならって、自分で罫線を引いたうえで記入してください（「Ⅲ. 資格等」欄に記入したものと同様に、資料番号も付け、資料も添付してください）。

◇その他、資格などに関して、強調したいことを記入してください。

※証明印などについては、必ず在籍している（していた）学校または関係機関に依頼し、記入・捺印を受けてください。在籍している（していた）学校または関係機関によって厳封されたものとし、開封されたものは無効とします。

VI. 証明書類を添付する際の注意

すべての活動について、その活動を証明し、裏付けとなる資料をA4判で作成し、必ず提出してください。

資料の分量で可否が決まるわけではありませんから、わかりやすく、簡潔にまとめる工夫を心がけてください。

パンフレットなどをそのまま提出すること、VTRやCD-ROMなどの磁気・電子媒体によって提出することは認められません。

必要箇所をA4判にコピーなどして、示したい部分をマーカーで塗るなどして、判るようにしてください。

A4判より大きい物は、A4判に縮小コピーなどして、逆に、A4判より小さい物は、A4判に拡大コピーなどして、工夫して作成してください。

◇資料には、各「活動記録報告書」の「資料番号」欄に対応する番号（1、2といった数字）を、すべての資料で通しの番号になるように付けます。

例えば、「活動記録報告書①（大会記録）」で3つ、「活動記録報告書②（生徒会活動・留学等・学校外での諸活動等）」で1つ、「活動記録報告書③（資格等）」で2つの資料がある場合は、①の資料に1、2、3、②の資料に4、③の資料に5、6、と付けます。

それぞれの資料の右上隅（表紙を付けたときに、「◆ 資料番号」欄あたりの位置）にも資料番号を付けてください。

◇それぞれの資料に「活動証明資料表紙」を付け、資料番号ごとにステープラー（ホチキス等）留めしてください。

例えば、「活動記録報告書①（大会記録）」で3つの資料がある場合は、1、2、3、と番号を付けた表紙ができ、3冊ができあがります。

◇活動を証明する資料が分厚くなり過ぎ、1つの番号で1冊にまとめられないときだけ、複数冊に分けてください。そのときは、「活動証明資料表紙」をコピーなどして、すべての冊子に表紙を付けてください。複数冊に分けたときは、それぞれの表紙に、分冊を示す分数を記入します（「活動証明資料表紙」参照）。

◇各「活動記録報告書」は、これらと一緒に綴じないでください。

□大会・コンクール・展示会・発表会など

どのような大会・コンクールなのかがわかる資料（「パンフレット」・「大会要項」・「新聞や雑誌記事」 これらのコピーなど）を添付してください。また、その大会・コンクールなどでの順位・賞などがわかる資料も添付してください（賞状のコピーなど）。

特に、団体で行う活動分野の場合は、個人としてどのような役割（部長・レギュラーメンバー・補欠など）で、どういう活躍をしたのかが客観的にわかるような資料（出場した大会のメンバー表、記録票のコピーなど）も、必ず添付してください。添付されていない場合、不利に扱われる場合があります。

□留学など

留学などをした期間の成績を証明する公的な証明書などのコピーを添付してください。

□生徒会などの活動

新聞・雑誌などに掲載された記事のコピーなど、活動の内容がよくわかるものを添付してください。

必ず、所属している（していた）生徒会・委員会などの資料（またはそれに準ずるもの、組織図・規約・校則・任命証のコピーなど）を加えてください。

□資格

資格の裏付けとなる資料（証明書などのコピー）、および資格に関する資料（パンフレット・試験の実施要項などのコピー）を添付してください。

特に、一企業が認定する資格や、一部の地方でしか認定試験が行われていない資格などは、必ずその資格の概要がわかる資料のコピーを添付してください。

封筒のおもて

〒169-8050 新宿区西早稲田1の6の1
早稲田大学社会科学部
全国自己推薦入学試験係
行

切手
簡易書留郵便（出願書類在中）

タテ約 332mm

ヨコ約 240mm

当学部所定の出願書類提出用封筒表紙ラベルに、住所・氏名を記入のうえ、封筒のおもてに貼ります。必要な郵送料分の切手（重さによって郵送料が異なります）を貼り、郵便局窓口で「簡易書留郵便」（締切間際の場合は、「簡易書留郵便・速達」）で郵送します。

同封する書類
(この入試要項で必要書類をよく確認してください)

該当するもの

- 活動の証明資料
（「活動証明資料表紙」を付けてステープラー留）
- 活動記録報告書③
（厳封されたもの）
- 活動記録報告書②
（厳封されたもの）
- 活動記録報告書①
（厳封されたもの）

全員提出

- 志望理由書
- 調査書
（厳封されたもの）
- 志願票
- 出願書類チェックリスト

封入

■個人情報の取り扱いについて

当学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。なお、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。あらかじめご了承ください。

07 選考

I. 第一次選考（書類選考）

以下の諸点を考慮のうえ、選考します。

- 成績評価
- 活動記録（大会成績・生徒会活動・留学・学校外での諸活動・資格など）
- 出席状況
- その他

II. 第二次選考（試験選考：第一次選考合格者のみ）

☐日程

2015年11月22日（日）

会 場：早稲田大学 早稲田キャンパス

集合時刻・試験教室：第一次選考合格者へ通知します

☐選考方法

+

— 諸 注 意 —

受験に関して

(1) 筆記用具など

HBの黒鉛筆、またはHBのシャープペンシルを使用してください。

下敷は、当学部で用意したもの以外は使用できません。

電卓、計算・辞書機能などの付いた時計の使用は認めません。アラーム機能付きの時計は、機能を解除しておいてください。

携帯電話・スマートフォンなどは、電源を切ってカバンなどにしまってください。また、これらを時計として使用することは認めません。

入学試験の実施に際して

(2) 受験環境

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ・生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。
- ・試験中に、携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のカバンなどが特定できた場合、持ち主の同意なく、監督員が試験場外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはカバンの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ・机、椅子、空調、音響設備などの試験教室による違いは一切考慮しません。
- ・他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。

(3) 不可抗力による事故など

台風、地震、洪水、津波などの自然災害、または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ、試験の延期などの対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については、何ら責任を負いません。

(4) 不正行為

次のことをすると、不正行為となることがあります。

- ①カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書などを隠し持つこと・使用すること、他の受験者の答案などを見ること、他の人から答を教わることなど）。
- ②筆記試験において、使用を認められていない物品を使用すること。
- ③筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど）。
- ④筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり、解答を続けたりすること。
- ⑤試験時間中に、答を教えるなど、他の受験者の利益になるような行為をすること。
- ⑥試験時間中に、携帯電話等を身に付けること、使用すること。
- ⑦試験時間中に、携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
- ⑧試験場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑨試験場において、試験監督員などの指示に従わないこと。
- ⑩志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ⑪その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。

- ・試験監督員などが注意をする、または事情を聴くこと。
- ・別室での受験を求めること。

不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。

- ・当該年度における当学のすべての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
- ・当該年度における当学のすべての入学試験の結果を無効とすること。

出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

その他

(5) 入 場 —— 試験当日は、受験生以外は試験場に入れません。

(6) 病 気 —— 試験中に、病気などで受験に耐えられなくなった場合には、その旨を監督員に申し出てください。

(7) 忘れ物 —— 物品を遺失した場合は、試験場の監督員、または係員に申し出てください。

08 合格者発表

I. 第一次選考 合格者発表

2015年11月13日 (金) 10:00

i. 郵送

志願者全員へ、第一次選考結果通知を発送します。

ii. ホームページ

早稲田大学入学センターホームページ (<http://www.waseda.jp/nyusi/index.html>) に、第一次選考合格者の受験番号を掲載します。掲載期間は2015年11月20日 (金) までです。

II. 第二次選考 合格者発表

2015年12月11日 (金) 10:00

i. 郵送

第二次選考受験者全員へ、第二次選考結果通知を発送します。また、合格者には、あわせて入学手続書類を送付します。

ii. ホームページ

早稲田大学入学センターホームページ (<http://www.waseda.jp/nyusi/index.html>) に、第二次選考合格者の受験番号を掲載します。掲載期間は2015年12月18日 (金) までです。

電話による可否の問い合わせには、一切応じません。

当学部では、合否電報・模範解答の取り扱いはありません。

例年、大学関係者を装った私設業者が出ていますが、その業者とのトラブルについては、当学は一切責任を負いません。

09 入学手続

I. 第一次入学手続

2015年12月14日 (月)～2016年1月4日 (月)

当学所定の入学手続料振込用紙に必要事項を記入のうえ、最寄りの銀行窓口 (ゆうちょ銀行を除く) から学費等を振り込むことで完了します。詳細については、合格者へ追って通知します。

II. 第二次入学手続

2016年3月中旬

詳細については、3月上旬に第一次入学手続完了者へ送付される「入学手続の手引き」を確認してください。

Ⅲ. 複数の学部から入学を許可された場合の手続

ひとつの学部合格した人が、その学部に登録料（入学金相当額）や学費等（春学期分）を納入した後、さらに他の学部へ入学を許可され、かつその学部へ入学を希望する場合は、本人からの申し出により、既に納入した登録料・学費等を入学希望学部の費用に振り替えることができます。

受付期間は、入学希望学部の第一次振込期間内（期間厳守）です。

Ⅳ. 入学金・学費・諸会費

【2016年度（予定）】

単位：円

	入学金	学 費					諸会費			初年度 合 計
		授業料	教育環境 整備費	実 験 実習料 ※	全 学 グローバル 教育費	学 生 読書室 図書費	学会費		学 生 健康増進 互助会費	
							入会金	年会費		
入学時 (春学期)	200,000	391,000	90,000	22,094	35,000	400	1,000	500	1,500	741,494
秋学期		391,000	90,000	22,094	35,000	400		500	1,500	540,494
計	200,000	782,000	180,000	44,188	70,000	800	1,000	1,000	3,000	1,281,988

※第2年度以降、実験実習料は必要ありません。

〔摘要〕

1. 当学では、学費・諸会費の納入は口座振替となります。秋学期の振替は、10月1日、第2年度以降、春学期の振替は、5月1日を予定しています。
振替予定日が金融機関休業日の場合、振替日は翌営業日となります。
2. 保健体育科目のシーズン実技科目を履修する場合、実験実習料として1,500円～40,000円が必要となります。
3. 第2年度以降に必要な学費等は授業料、教育環境整備費、全学グローバル教育費、学生読書室図書費、学会費および学生健康増進互助会費です。また、第4年度秋学期に校友会費40,000円が必要になります。
4. 実験実習料、学生読書室図書費、諸会費は、金額が改定されることがあります。
5. 教員免許状を取得するのに必要な教職課程設置科目・教職に関する科目を履修する場合は、1単位につき1,000円の聴講料が別に必要です。
6. 図書館司書（学校図書館司書教諭を含む）の資格を取得しようとする場合は、図書館司書課程科目聴講料7,000円が別に必要です。
7. 入学後、特定の科目を選択したとき、別途実験実習料が必要となることがあります。

○一度納入した入学金・学費・諸会費は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合には、学費・諸会費（春学期分）のみが返還の対象となります。手続方法など、詳細については、3月上旬に第一次入学手続完了者へ送付される「入学手続の手引き」を確認してください。

10 Q&A

I. 全国自己推薦入学試験に関して

i. 出願資格

Q なぜ、出願資格を高校卒業後1年以内まで認めているのですか？

A 当学部では、全国自己推薦入試に関し、例年10月に出願受付、11月に書類および試験選考を行なっています。このため、卒業見込の者は、全国自己推薦入試出願期間以後の活動歴をもって出願することができません。高校3年間のすべての活動歴を申請できるように、高校卒業後1年間は出願を認めることにしています。

Q 「2016年度全国自己推薦入学試験要項」3ページ、「04.出願資格」(1)～(4)の、すべての要件を満たさなければならないのですか？

A (1)～(3)については、すべてを満たさなければなりません。ただし、(4)については、いずれか1つ以上に該当していればかまいません。

Q 高校を卒業して、他大学（または早稲田大学他学部）に在籍していますが、出願できますか？

A 高校卒業後1年以内であれば、出願できます。

Q 前年に全国自己推薦入試（または一般入試）を受験し、一度不合格となったのですが、出願できますか？

A 出願できます。

ii. 活動記録

Q 出願資格(4)の、「その他、学校外での諸活動」とはどのようなものですか？

A 高校生活とは直接関係のないもので、学芸系・スポーツ系・ボランティア活動など、あらゆる個人的活動を意味します。過去の出願例として、執筆活動や芸能活動などもあります。

Q 出願資格(4)は、それぞれどの程度のレベルで出願できますか？

A 自身をアピールできるものであれば、それで出願資格を満たすと考えてください。
ただし、書道の展覧会や段位、珠算の大会のように、同じ賞・評価を受けた者が多数いるようなものの場合は、高い評価を得られないケースが多いようです。

Q

高校卒業後に収めた成績や、取得した資格の申請は認められますか？

A

高校卒業後に収めた成績や取得した資格は、対象外とします。これは、高校在学生の活動歴と高校既卒生の活動歴とを、平等に評価するためです。

Q

資格・検定に最低基準はありますか？

A

最低基準は設けていません。自身をアピールできる資格でしたら、出願要件を満たしています。

Q

「学校外での諸活動でめざましい活躍をした者」、および「生徒会活動」については証明が難しいと思いますが、どのように申請したらよいのでしょうか？

A

「学校外での諸活動でめざましい活躍をした者」については、「活動記録報告書②（生徒会活動・留学等・学校外での諸活動等）」に必要事項を記入のうえ、関係機関（主催団体など）での証明を受けてください。「生徒会活動」については、「活動記録報告書②（生徒会活動・留学等・学校外での諸活動等）」に役職名およびその役割を記入し、その裏付けとなるよう、生徒手帳などに記載されている組織図・規約・校則・任命証のコピーなども必ず添付してください。また、両方の活動とも、可能な限り、新聞・雑誌などに掲載された記事のコピーなどを添付してください。

Q

スポーツ系クラブなどのマネージャーとしてクラブの活性化に貢献した場合にも、出願資格がありますか？

A

出願資格があります。クラブの成績を「活動記録報告書①（大会記録）」に詳細に記入し、「その他特記事項」の欄に「マネージャー」と記入してください。また、「志望理由書」の中で、活動内容として書いてもかまいません。

Q

団体スポーツで、チームとしては成績を残せなくても、個人として秀でている場合は出願資格がありますか？

A

出願資格があります。個人がいかにチームに貢献したか、また、それによってどのような成果をあげたのか、ということがわかるよう、「活動記録報告書②（生徒会活動・留学等・学校外での諸活動等）」に記入してください。その場合は、その内容を伝える記事・記録のコピーなどを資料として添付してください。また、「志望理由書」の中で、活動内容として書いてもかまいません。

Q

転校前の活動内容は、出願資格として認められますか？

A

認められます。その場合は、前在籍の学校長が発行した証明書（形式自由）を添付してください。

Q

中学生時代の活動は認められますか？

A

資格・検定以外は認められません。

iii. 選 考

Q 高校在學生と高校既卒生とでは、書類選考・試験選考において有利・不利がありますか？

A ありません。平等に評価します。

Q 高校在學生と高校既卒生とのそれぞれに、合格枠を設けているのですか？

A いいえ。合格枠を分けず、同じ基準で選考しています。

Q 本人の現住所と高校の所在する都道府県が別の場合、選考はどちらに属して行われますか？

A 高校の所在する都道府県に属して行われます。

Q 都道府県ごとに、1名しか合格できないのですか？

A 「全国自己推薦入学試験」とあるように、できる限り全国から合格者を出すように配慮しています。また、目標を「1名以上」としているように、複数の合格者を出すことは大いにあります。一方で、一定の基準を満たす受験生がいない場合は、合格者なしとすることもあります。

Q 第一次選考における評価基準はどのようなものですか？

A 出願資格 (2)～(4)の各項目の配点・配分基準については、公表していません。しかし、客観的な評価基準を設け、それに基づいて評価します。

Q 学校外での諸活動でめざましい活躍をした者の評価は、どのような基準で行われますか？

A 他の活動と同様に、一定の基準に基づいて評価します。

Q 第二次選考は、第一次選考の結果を考慮しますか？

A 第二次選考は、第一次選考の結果を含めて総合的に判断し、最終合格者を決定します。

Q

第二次選考の小論文については、どのような内容、分量が課されますか？

A

高校3年生の教養レベルを著しく超える内容や分量を求めることはありません。以下は、過去5年間に
出題された課題です。

年度	課 題	試験時間
2011	最近、家族による「高齢者虐待」が問題となっています。このような現象について、あなたはどのような施策が必要だと考えますか。あなたの考えを800字以内で述べてください。	90分
2012	近年、スポーツのためや有名大学進学のため出身都道府県とは異なる遠方の高校に進学する人が多く見受けられますが、このような現状について、あなたの考え方を800字以内で述べてください。	90分
2013	領土問題をめぐる政府間の対立が顕在化しています。このような政府間の対立のなかで、民間交流をどのように進めていけばよいと思いますか。民間交流の役割を踏まえて、あなたの考えを800字以内で述べてください。	90分
2014	高度情報化社会の長所と短所についてあなたの考えを800字以内で述べてください。	90分
2015	日本でも、シルバー・デモクラシーと呼ばれる現象が発生し、若年・壮年者の利益を犠牲にして、高齢者の利益の増進がなされていると言われることがあります。このような現象が発生する理由と、高齢者の利益が優先されている具体例を挙げて、800字以内で述べてください。	90分

ただし、2016年度の全国自己推薦入学試験が、上記の形式で出題されるとは限りません。

iv. その他

Q

他大学の入学試験（または早稲田大学他学部の自己推薦入学試験や一般入学試験）や、プロスポーツの入団テストなどと併願することはできますか？

A

いずれとも、併願することはできます。

Q

合格者が入学をとりやめた場合、翌年以降、その出身高校の受験生が不利になることはありますか？

A

辞退者があったとしても、次年度以降、その出身高校の受験生に不利な扱いをすることはありません。

Q

アピールした活動を評価されて合格した場合、入学後も続ける義務があるのでしょうか？

A

ありません。個人の意志を尊重します。

Ⅱ. 社会科学部について

Q 在学生の男女比はどのくらいですか？

A 男性：女性は、約3：1です。

Q どんな資格が取得できますか？

A 当学部で取得できるのは、**教員免許状**、**博物館学芸員**、**社会教育主事**、**社会福祉主事**、**図書館司書**、**学校図書館司書教諭**、**社会調査士**です。所定の科目や単位を取得する必要がありますので、詳細は、入学後に配付される「学部要項」および「教職課程履修の手引き」を参照してください。
また、在学中に司法書士や公認会計士など、難関と言われる資格試験に合格する学生もいます。

Q どんな種類の教員免許状が取得できますか？

A 当学部で取得できるのは、**中学校1種「社会」**、**高等学校1種「地理歴史」**、**高等学校1種「公民」**、**高等学校1種「商業」**、**高等学校1種「情報」**の免許状です。詳細は、入学後に配付される「学部要項」および「教職課程履修の手引き」を参照してください。

Q 就職状況はどうですか？

A 当学部のカリキュラムを活かし、製造業、商業、金融・保険業、マスコミ関係、IT関係など、多様な業種に就職していることが特徴です。
社会科学部および社会科学部の卒業生に対する評価は概して高く、継続的な採用を期待する声が寄せられています。

(ご参考)早稲田大学キャリアセンターホームページ

<http://www.waseda.jp/career/>

Q 大学院への進学状況はどのようになっていますか？

A 1994年から大学院社会科学部研究科修士課程が、また1996年から同博士後期課程が開設されました。2005年から大学院は「昼夜開講制」になり、推薦入学制度も導入されましたので、近年、進学者は増加傾向にあります。

Ⅲ. その他

Q なぜ学校または関係機関の証明印が必要なのですか？

A 学校や学校外での活動内容（クラブ活動など）について、虚偽の記載が無いかどうかを確認するものです。「学校長などの推薦が必要」ということではありません。

Q

活動記録報告書が複数ある場合、その種類ごとに分けて、個別に厳封しなければなりませんか？

A

証明してもらう学校または関係機関ごとにまとめていけば、個別ではなく、複数の活動記録報告書をまとめて厳封してもらってもかまいません。

Q

大学に入学してから、授業以外の活動をする時間はありますか？

A

多数の学生が、体育各部やサークルに所属し、学業と両立しています。

Q

地方出身者の都会生活は家計の負担が大きいです。全国自己推薦入試制度の入学に対し、奨学金などの優先制度があるのでしょうか？

A

奨学金は、それぞれの学生の家計状況に基づき、採否を決定しています。そのため、全国自己推薦入試制度による入学者を優先することはありませんが、当学には、多種の奨学金制度がありますので、ぜひ、積極的に活用してください。

(ご参考)早稲田大学学生部奨学課ホームページ

<http://www.waseda.jp/syogakukin/>

※この他、全国自己推薦入学試験パンフレットに、入試データや合格者のインタビューなどを掲載しています。全国自己推薦入学試験パンフレットは全国の高校に配布し、また当学部のホームページ (<http://www.waseda.jp/fsss/sss/>)にも掲載していますので、是非、一読してください。

連絡先

この入学試験に関する問い合わせは、下記へお願いします。

早稲田大学社会科学部「全国自己推薦入学試験」係

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

TEL 03-5286-3804/FAX 03-3204-8962

E-Mail admissions-socs@list.waseda.jp

<窓口受付時間> 月～金/9:00～17:00